「現一関市総合計画後期基本計画」抜粋

1 総合計画とは

(1) 計画の役割

一関市総合計画は、本市が目指すまちづくりの方向性を定めるもので、以下に示す役割を担います。

①まちづくりの将来像と基本的な考え方及びこれを達成するための目標や施策の大綱を明らかにするものです。

②市においては、行財政運営の基本指針として位置付け、市行政の推進に当たっての総合性、計画性、実効性を確保します。

③市民や企業、各種団体の皆さんには、まちづくりの基本的な考え方や方向性を示し、協働によるまちづくりの指針としていただくとともに、自主的、積極的な活動の展開を期待するものです。

④国・県等に対しては、地域の自立を尊重した施策推進への取り組みを働きかけるものです。

(2) 計画の構成と目標年次

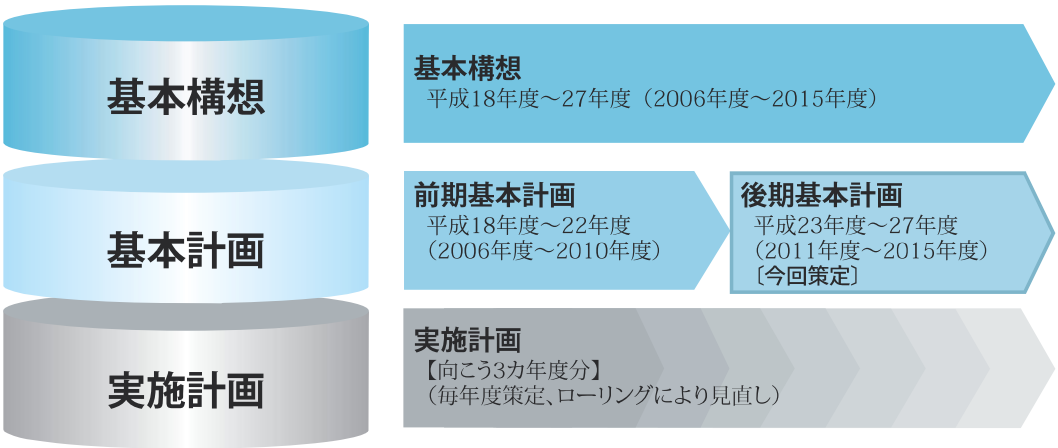
一関市総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の３段階で構成し、それぞれの内容や役割、目標年次は次のとおりです。

①基本構想

私たちが実現したいまちの将来の姿を明らかにするとともに、その将来像実現のために、市民と行政が共通認識すべきまちづくりの基本理念とまちづくりの基本目標を定めるものです。

②基本計画

基本構想に基づき、将来像実現のための基本となる施策プログラムを定め、分野ごとの施策の展開方法や推進方策を定めるものです。

③実施計画

基本計画に基づき、毎年度、向こう３カ年度分の個々の施策についての具体的な事業計画を定めるもので、社会経済情勢の変化を見極めながらローリングにより見直し、市の予算編成の指針とするものです。